

令和４年度進行管理・評価シート
高梁市歴史的風致維持向上計画（第２期）（令和３年３月２９日認定）
（最終変更 令和５年３月２９日）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)	
１ 関係各課との連携	１
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)	
１ 景観計画等との連携による良好な景観の形成	２
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)	
１ 高梁市歴史的町並み保存地区整備事業	３
２ 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	４
３ 郷土資料館保存修理事業	５
４ 史跡備中松山城跡記念物保存修理事業	６
５ 松連寺本堂保存修理事業	７
６ 旧広兼家住宅保存修理事業	８
７ 吉岡銅山遺跡調査事業	９
８ 笹畝坑道整備事業	１０
９ ベンガラ館整備事業	１１
１０ 松山踊り保存伝承活動推進事業	１２
１１ 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業	１３
１２ 吹屋地区道路美装化事業	１４
１３ 城山ウォーキングコース整備事業	１５
１４ 藩校「有終館」整備事業	１６
１５ 旧吹屋小学校周辺整備事業	１７
１６ 古民家再生事業	１８
１７ 日本遺産推進事業	１９
１８ 歴史と文化の普及啓発事業	２０
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)	
１ 文化財の保存又は活用、文化財の修理	２１
２ 文化財の保存・活用を行うための施設	２２
３ 文化財の保存及び活用の普及啓発	２３
４ 文化財の防災、埋蔵文化財の取扱、文化財の保存・活用に関わっている住民、任意団体など各種団体の状況及び今後の体制整備	２４
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)	
１ 木造校舎威容再び 旧吹屋小保存修理完了、２１日から公開 他	２５
⑥その他(効果等)(様式１－６)	
１ 観光客数(主要文化財対象者数)の推移	２６
□法定協議会等におけるコメントシート(様式２)	２７

評価軸①-1 組織体制	
評価対象年度	
令和4年度	
項目	
現在の状況	
関係各課との連携	
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	計画の実施にあたっては、「高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議」において、計画の推進、連絡調整を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
日本遺産・歴まち推進室が中心となって、関係課と連携を図り各事業を進めた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	第2期計画の事業の円滑な実施に向けて、関係課の一層の連携を図り、取り組みを推進していく必要がある。
状況を示す写真や資料等	
【庁内連絡会議】 ・事業担当課と随時協議しながら事業を推進した。 (関係課) 日本遺産・歴まち推進室、教育委員会社会教育課、観光課、成羽地域局、建設課、都市整備課、西部土木事務所 【法定協議会】 ・第17回 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会 - 開催日: 令和5年3月28日 - 主な議事: 令和4年度事業の実施報告について 令和5年度事業の実施計画について  第17回 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会	

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
景観計画等との連携による良好な景観の形成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	重点区域内の文化財周辺については、その大部分が高梁市景観計画に基づく自然緑地景観形成ゾーン、歴史的町並み景観形成ゾーン、駅周辺景観形成ゾーンもしくは、主要眺望地点に定められている。 高梁地区重点区域においては、都市計画法による奥万田地区地区計画を定めており、建築物などの形態または意匠、高さの制限や、屋外広告物の規制など、文化財の周辺景色としてふさわしい地域となるよう規制が行われている。 吹屋地区重点区域は、吹屋中心部を重要な景観とその背景を保全するための眺望地点に指定し、周辺の山並みと一体となった調和した景観の維持及び向上を図るため、大規模建築物などの規制を行っている。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年に策定した高梁市景観計画に基づく届出がある場合、景観審議会において景観形成基準に対する適合性を審議している。令和4年度は、83件の届出があり、そのうち景観形成重点地区内については16件の届出があった。
また、都市計画法第18条の2に基づいて「高梁市都市計画マスタープラン」を策定した。高梁市都市計画マスタープランでは、まちづくりの方針を「土地利用・市街地整備」「都市交通」「水道及び河川の整備」「公園・緑地の整備」「自然環境保全」「防災・防犯」「景観形成」の7つの分野からまちづくり方針を設定した。

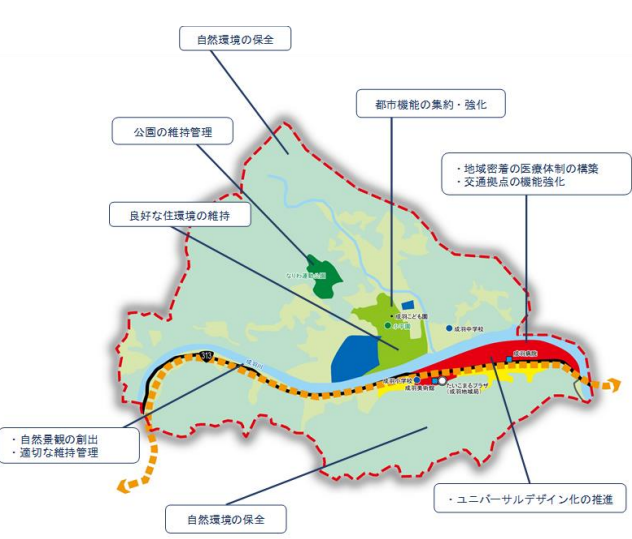
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

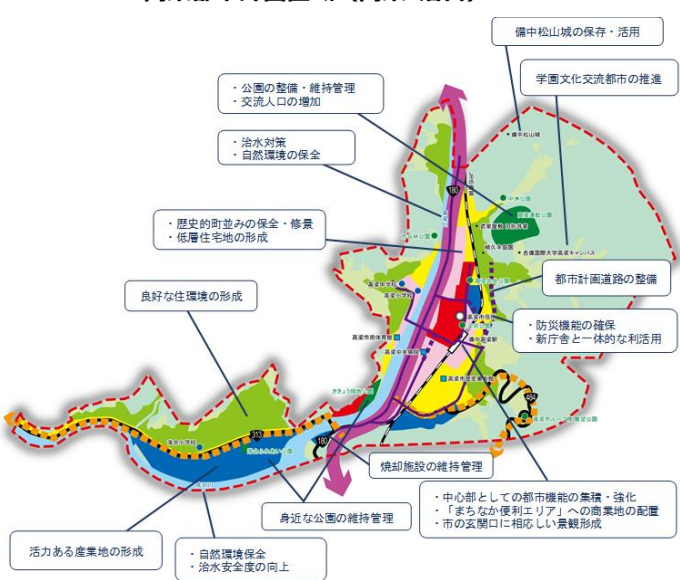
- 高梁市景観審議会 第13回 臨時開催:令和4年6月16日
主な議事:高梁市消防庁舎の新築について(継続審査分)
- 第14回 臨時開催:令和5年2月1日
主な議事:駅前大通りアーケード(雨除け)改修について
- 第15回 定例開催:令和5年3月3日
主な議事:令和4年度 高梁市景観計画及び景観条例に基づく届出実績報告
- 高梁市都市計画審議会 開催日 : 令和4年11月22日
主な議事:高梁都市計画マスタープラン(案)について
- 開催日 : 令和5年 2月20日
主な議事:高梁都市計画マスタープラン(最終案)について

高梁市都市計画マスタープラン(抜粋)

高梁都市計画区域(成羽)



高梁都市計画区域(高梁・落合)



景観形成の方針

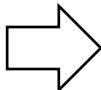
市街地を取り巻く豊かな自然景観の保全
歴史・文化を活かした個性ある都市景観の形成
にぎわい・魅力・住み良さを感じるまちの景観づくり
市民の理解と協力による景観形成
景観計画に基づいた景観づくりの推進

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和4年度
高梁市歴史的町並み保存地区整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～令和12年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	歴史的な町並みを保存し後世に伝えていくため、城下町の面影を残す路線を歴史的町並み保存地区とし、その沿線の建築物等を対象物件として、市が定める条件にあった歴史的に価値がある建造物や住宅等の外観を、保存修理または修景をする者に対して一定の補助をする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
城下町の面影を色濃く残す本町や石火矢町、紺屋川筋など、高梁市景観計画に定める景観形成道路を対象地区として、伝統的家屋等の保存修理や修景に対する補助を行っている。令和4年度は、歴史的建造物等の保存修理2件、修景1件に対して補助を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	人口減少等の影響もあり、歴史的な町並みにある家屋は老朽化による取り壊しや空き家が見られるようになってきている。制度の一層の周知や住民意識の醸成を図り、歴史的町並みの存続に努める必要がある。	
状況を示す写真や資料等		

●脇門土間の改修(石火矢町)



●なでしこ寮土塀の修繕(向町)

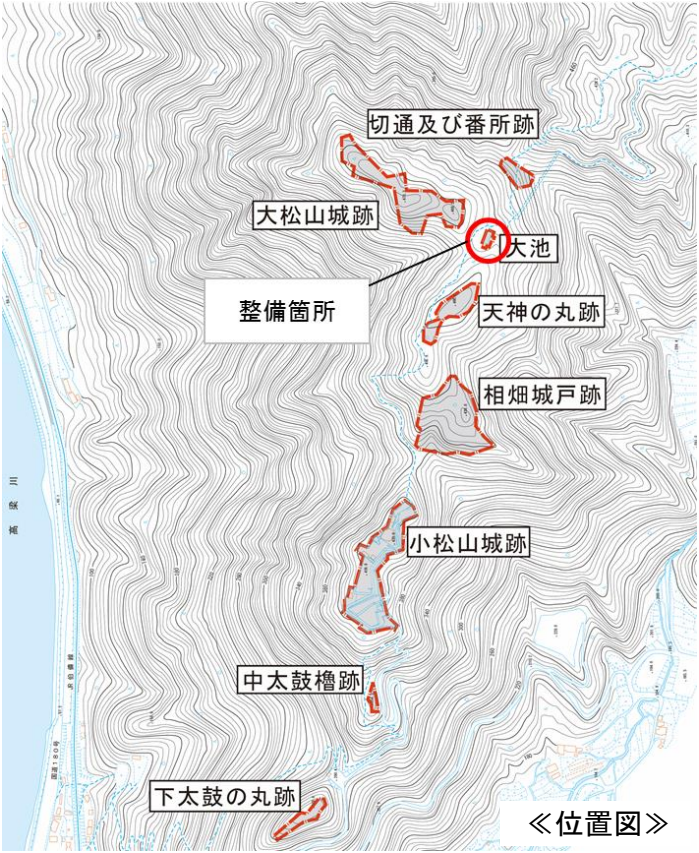


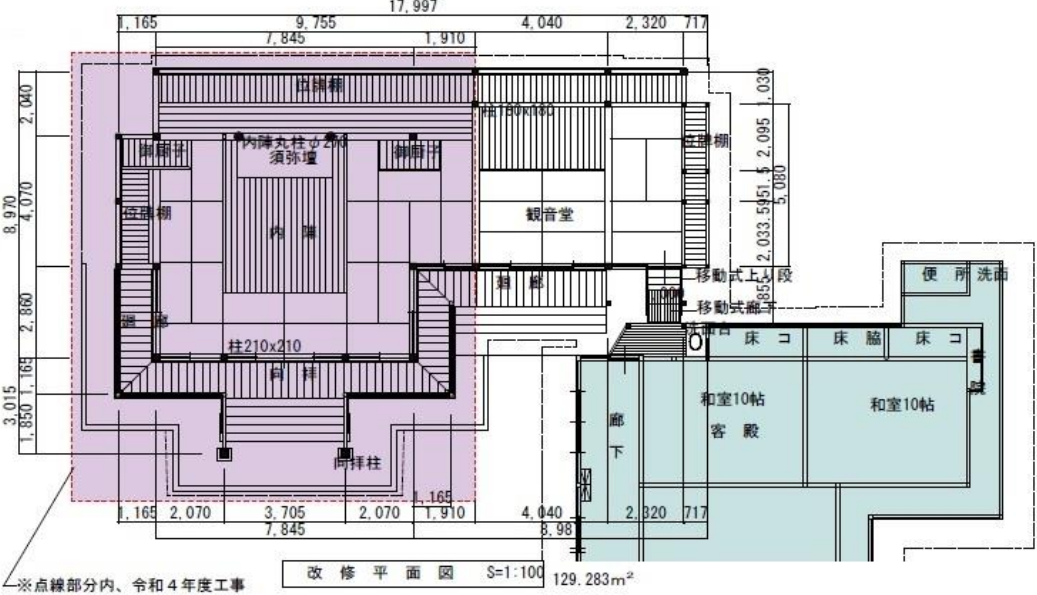
評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～令和12年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金	
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区に選定されている吹屋地区の歴史的風致を継承していくため、伝統的建造物の保存修理等に対する支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区の傷みが激しくなってきた伝建家屋を順次整備していくことで、歴史的風致の維持向上を図った。令和4年度は、2件の保存修理・修景を行うとともに、2件の小修繕を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		施主の高齢化により改修への意識が低くなってきているが、吹屋町並保存会と連携し、引き続き、意識の高揚を図る。
状況を示す写真や資料等		
《実施した建造物》		
●べんがら屋		
	→	
修景前		修景後
●那須家		
	→	
修理前		修理後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
郷土資料館保存修理事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成23年度～令和4年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	高梁市郷土資料館(市指定重要文化財(建造物)・旧高梁尋常高等小学校本館)は、平成23～24年度に建造物の調査を実施し、調査報告書を作成しているが、これまでに本格的な保存修理は実施されておらず、全体的に傷みが進行してきているため、将来的な保存に向けて、修理の必要箇所を再度検討しながら、保存修理を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和4年度は、令和3年度に実施した高梁市郷土資料館(市指定重要文化財(建造物)・旧高梁尋常高等小学校本館)の保存修理のための実施設計に基づき、瓦葺替、外壁塗装修理など保存修理工事を行うとともに、工事の監理委託業務を文化財に精通した設計業者に委託して実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	文化財の保存修理であるため、文化財の価値を損なわないように保存修理を実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 保存修理工事 仮設設置状況  屋根瓦 葺替後の状況  外壁の塗装後の常用  建具の塗装と補修状況		

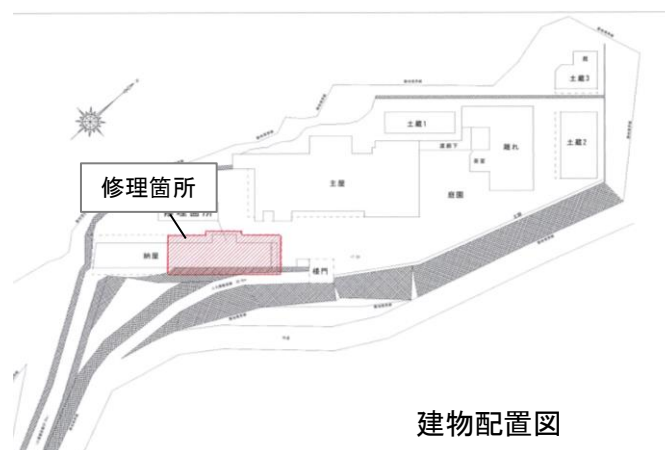
評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和4年度	
項目	
現在の状況	
史跡備中松山城跡記念物保存修理事業	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間 平成22年度～令和12年度	
支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金	
計画に記載している内容 史跡備中松山城跡は、史跡指定地が8箇所 に点在しており、地点ごとにおける整備基本方針によって、保存整備、環境整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
大池及び大池周辺の保存整備を長期的に実施する計画であり、令和4年度は7年目である。 大池からの水を排水する出口部分に築かれた下の段石垣の孕み出しが激しくなっていることから、石垣の解体修理を実施することとしており、令和4年度は石垣の解体を行った。また大池周辺の発掘調査を実施し、下の段石垣の延長部分を検出した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	
今後の発掘調査によって、整備方針を検討していく必要がある。 池内部の水の排水方法について工法を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等	
	
下の段石垣 解体前の状況	
	
下の段石垣 解体後の状況	
	
下の段石垣 解体作業状況	
	
下の段石垣 延長部 確認状況	
	
《位置図》	

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度 令和4年度	
現在の状況	
松連寺本堂保存修理事業 ☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間 令和4年度～令和5年度	
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物として指定した松連寺の本堂は、傷みが激しく雨漏り等が悪化している状態であることから、所有者が実施する保存修理に対して財政的な支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年4月1日付けで高梁市歴史的風致形成建造物保存事業補助金交付要綱を制定し、歴史的風致形成建造物の外観修理及び修景に対する助成制度を創設した。松連寺の保存修理工事に対しては令和4年5月10日付けで補助金交付決定を行っており、同月中に工事の着工がなされている。	
進捗状況 ※計画年次との対応	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない 保存修理に当たっては、市補助対象部分と県指定重要文化財の補助対象部分とに分け、各1年の工期で施工を行うこととしている。令和4年度においては市補助対象部分の実施となるが、解体工事を行ったところ劣化状況が想定を超えており、予定工期内に完成が見込めず工期の延長を行うこととしている。	
状況を示す写真や資料等	
 松連寺本堂 保存修理 状況	
 松連寺本堂 改修平面図	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
旧広兼家住宅保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～令和12年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)	
計画に記載している内容	旧広兼家住宅(市指定重要文化財(建造物))を構成するものに焦点をあて、文化財的な価値を後世に継承するために調査し、計画的に保存修理を行っていく。建物の傷みが進行しており、報告書作成までは、これまでも行ってきた建物を守るための緊急的な部分補修を継続する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和4年度は、緊急的な部分補修として、経年劣化により腐食箇所が生じていた納屋屋根の瓦葺き替え等の修理を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	建物の傷みが進行していることから緊急的な部分補修を継続しているが、文化財の価値を損なわないように実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



建物配置図



修理後

旧広兼家住宅納屋 全景



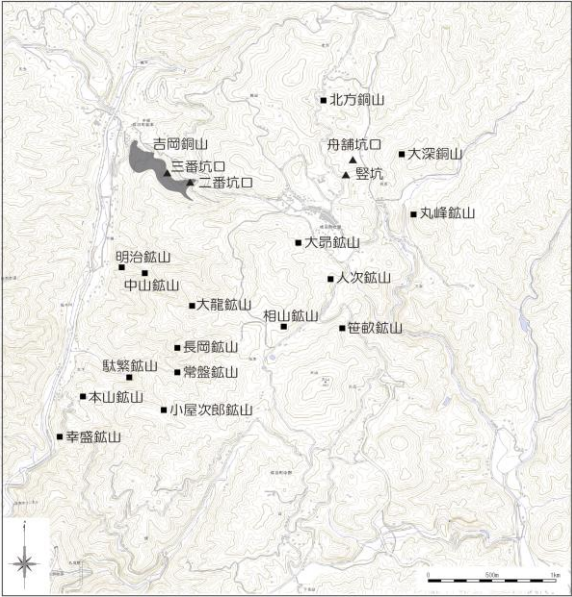
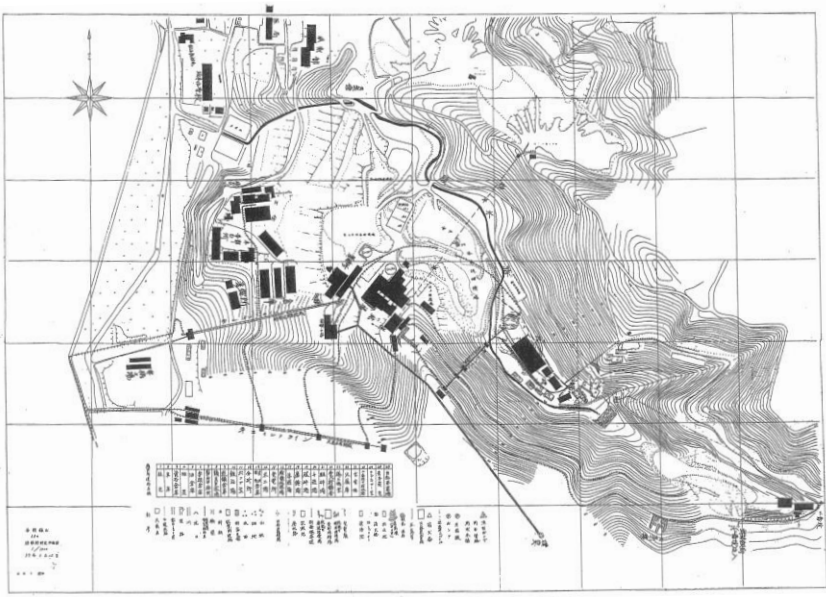
屋根葺き替え前

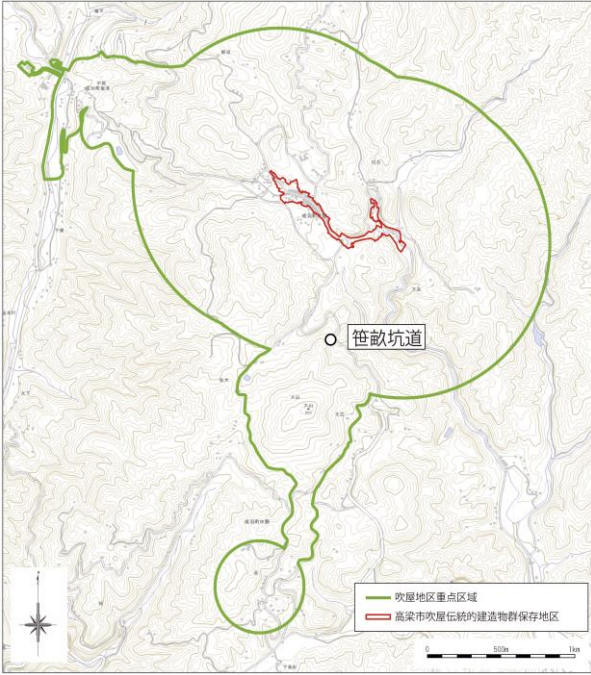
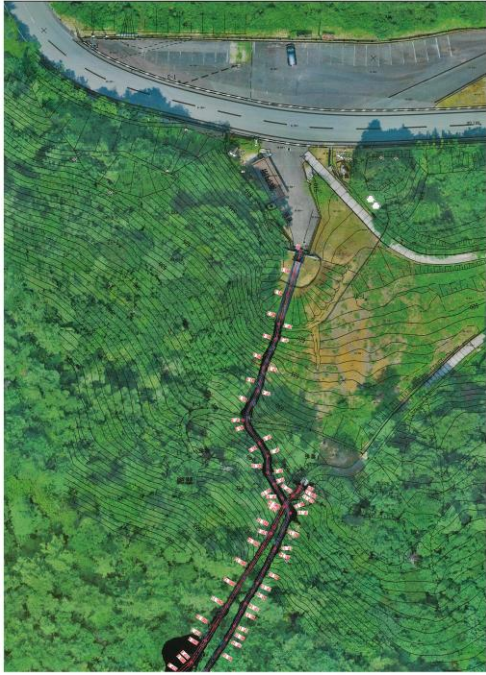


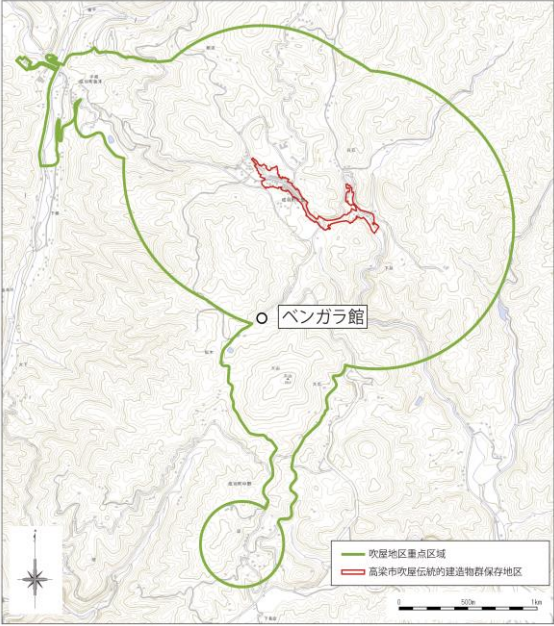
屋根葺き替え後

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
吉岡銅山遺跡調査事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成29年度～令和7年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金	
計画に記載している内容	吹屋地区が銅山と弁柄で栄える礎となった吉岡銅山遺跡に関する発掘調査や文献調査、記録の収集などを行い、歴史的・文化財的な価値付けを行い調査報告書としてまとめる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
吉岡銅山関連遺跡の文化財的な価値付けを行うために、計画的に発掘調査、測量調査、文献調査等を実施している。令和4年度は、煙道周辺の遺構の把握のために樹木伐採を行うとともに、昨年度確認した精錬所施設の残存状況確認のための発掘調査を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	令和3年度に吉岡銅山関連遺跡調査委員会において、今後の調査指針をまとめた。各地に残されている過去の銅山の記録調査と発掘調査を並行して実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 吉岡銅山と周辺の鉱山  吉岡銅山の建物配置(過去の図面)  吉岡銅山 煙道  発掘調査で検出した遺構		

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和4年度	
現在の状況	
項目	
笹畝坑道整備事業	
□実施済 ■実施中 □未着手	
事業期間 平成24年度～令和7年度	
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)	
計画に記載している内容 笹畝坑道の入口奥及び出口付近等の外壁を支える坑木が腐朽しているため、修理を行う。また、坑道内の説明には欠かせない採掘作業を再現した人形、照明設備も傷んでいるため計画的な整備を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
老朽化が進む笹畝坑道の修繕に必要となる測量を行うとともに、木部が腐朽している危険ヵ所の修理を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	
坑道内の痛みが進行していることから、補修を継続し進めていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等	
 笹畝坑道 位置図  笹畝坑道 測量図の一部  修理前  修理後	

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
ベンガラ館整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和4年度～令和6年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)	
計画に記載している内容	吹屋における明治期の杵柄工場を再現したベンガラ館は、昭和52年の整備から年月が経ち老朽化してきている。 吹屋の繁栄の礎となった産業である杵柄の生産工程を後世に伝え、知ることのできる唯一の施設であるが、水車や干立場(天日干しする場所)などを修理するとともに、見学しやすいように説明看板の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和4年度は、計画を進め整備をしていく中で施設修理について、施設管理をしている指定管理者等と来年度実施に向けて協議を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		貴重な歴史的資源である吹屋で生産された杵柄の工程を、引き続き公開していくとともに、後世に伝えられるよう整備をしていく必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 ベンガラ館 位置図  水車外観 現状  館内 現状  水路 現状		

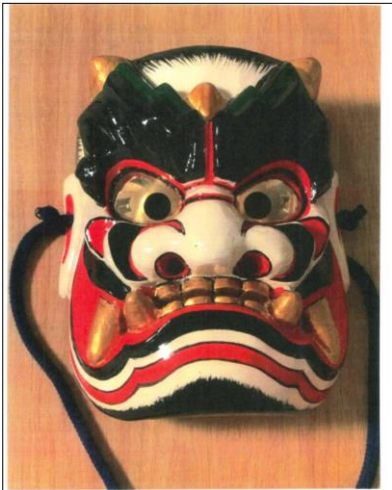
評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

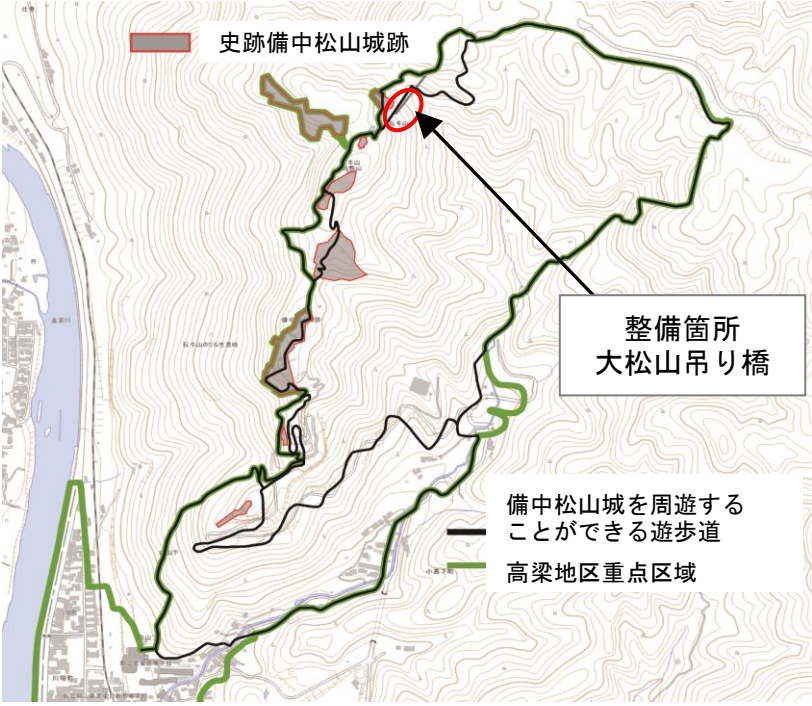
評価対象年度		令和4年度						
項目		現在の状況						
松山踊り保存伝承活動推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手						
事業期間	令和3年度～令和12年度							
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)							
計画に記載している内容	松山踊り(県指定重要無形民俗文化財)を構成する「地踊り」「ヤトサ」「仕組踊り」の音頭や踊りの所作などの保存継承活動をしている団体に対して、保存継承に必要な活動経費と用具の整備にかかる費用について財政的な補助を行い、その活動を支援する。							
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で								
県指定重要無形民俗文化財「松山踊り」の保存継承活動をしている団体に、用具の整備にかかる費用について補助金を支出することで、保存継承活動の支援を行った。新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、祭事等が行われるようになり、各団体の活動も活発となり、1団体の補助を行った。								
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)							
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	団体の担い手が少ないことが要因となり、活動費用の捻出が課題となっており、補助金を活用し継続的な活動ができるように支援を行うことで、活動団体数を維持する必要がある。今年度は新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、3年ぶりに松山踊りが開催されるなど、保存継承団体の活動が活発になっており、これを継続するためにも引き続き活動補助を行う必要がある。							
状況を示す写真や資料等								
<table><thead><tr><th>補助対象団体</th><th>補助額</th><th>補助交付実績(市内全域)</th></tr></thead><tbody><tr><td>市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体</td><td>事業費の1/2以内で市長の定める額</td><td>55千円 (1団体)</td></tr></tbody></table>			補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)	市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	55千円 (1団体)
補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)						
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	55千円 (1団体)						
 								
仕組踊り保存会「城扇」 用具整備 (羽織)								

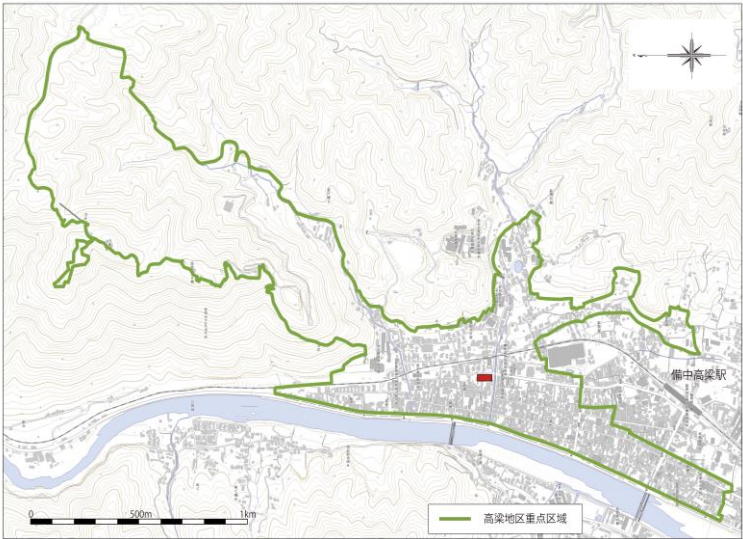
評価軸③-11

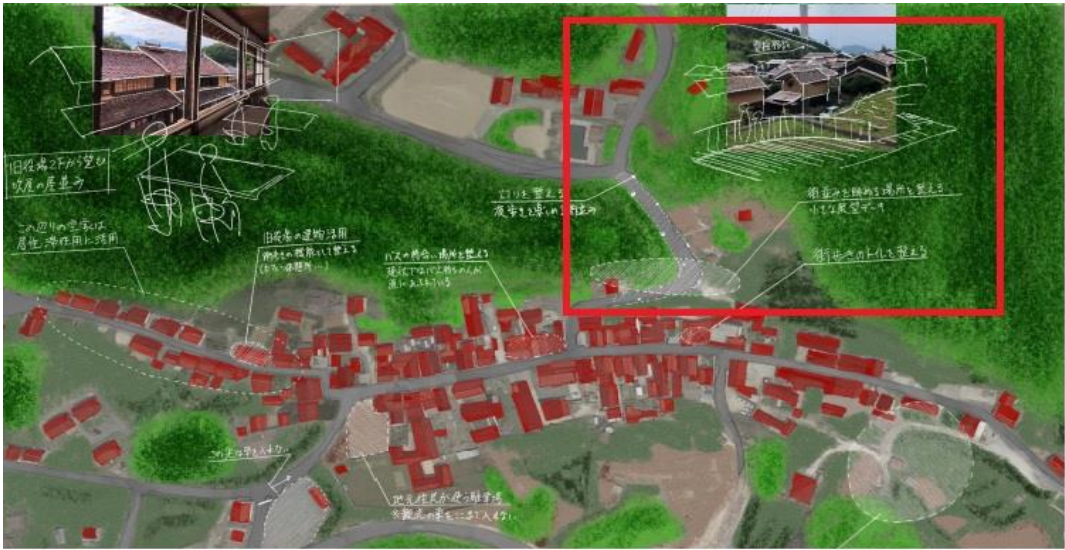
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

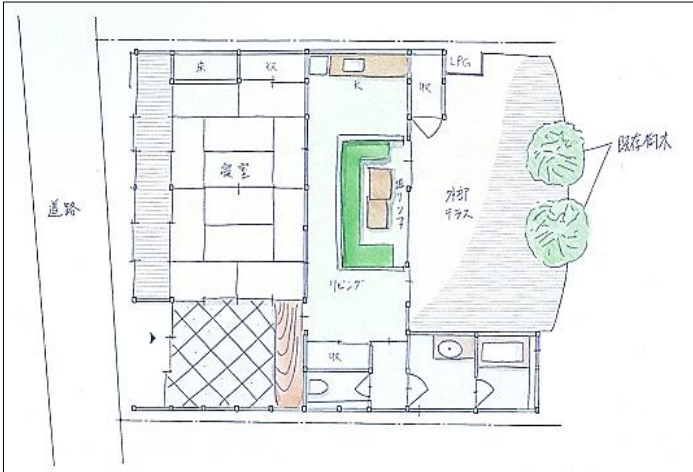
評価対象年度		令和4年度																		
項目		現在の状況																		
備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手																		
事業期間	平成23年度～令和12年度																			
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)																			
計画に記載している内容	備中神楽(重要無形民俗文化財)、渡り拍子(市指定重要文化財(無形民俗文化財))の保存伝承育成を行う保存会や育成会が活動する経費と用具の整備に対して財政的な補助を行い、その活動を支援する。																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																				
重要無形民俗文化財「備中神楽」、県指定重要文化財「渡り拍子」の保存伝承・育成を行う団体に対して補助金を支出することで、保存伝承、後継者の育成ができるよう支援した。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら祭事等が開催されるようになり、直近2年間に比べて活動を行う団体が増え、前年度よりも補助団体数は増加した。 ＜令和4年度補助団体数＞ 備中神楽保存団体 2団体、備中神楽育成団体 8団体、渡り拍子伝承育成団体 11団体 用具・衣装等の整備 4団体 計25団体 (事業費1,618千円)																				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																			
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	少子化により担い手が減少しているため、神楽育成団体・渡り拍子保存会ともに補助団体が減少していく可能性が課題として挙げられる。補助金の活用により、継続的な活動ができるよう、支援のPRを行うなど取り組みを実施し、活動を行っている団体数を維持する必要がある。また、新型コロナウイルスへの対策を講じた上での活動の継続が必要である。																			
状況を示す写真や資料等																				
《活動費の補助》 <table><thead><tr><th>補助対象団体</th><th>補助金の限度額</th><th>補助交付実績(市内全域)</th></tr></thead><tbody><tr><td>備中神楽保存団体</td><td>100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり</td><td>80千円 (2団体)</td></tr><tr><td>備中神楽育成団体</td><td>100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり 3,000円／保護者1家族あたり</td><td>1,093千円 (8団体)</td></tr><tr><td>渡り拍子伝承育成団体</td><td>10,000円／1カラあたり</td><td>260千円 (11団体)</td></tr></tbody></table> <table><thead><tr><th>補助対象団体</th><th>補助額</th><th>補助交付実績(市内全域)</th></tr></thead><tbody><tr><td>市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体</td><td>事業費の1／2以内で 市長の定める額</td><td>185千円 (4団体)</td></tr></tbody></table>			補助対象団体	補助金の限度額	補助交付実績(市内全域)	備中神楽保存団体	100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり	80千円 (2団体)	備中神楽育成団体	100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり 3,000円／保護者1家族あたり	1,093千円 (8団体)	渡り拍子伝承育成団体	10,000円／1カラあたり	260千円 (11団体)	補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)	市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1／2以内で 市長の定める額	185千円 (4団体)
補助対象団体	補助金の限度額	補助交付実績(市内全域)																		
備中神楽保存団体	100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり	80千円 (2団体)																		
備中神楽育成団体	100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり 3,000円／保護者1家族あたり	1,093千円 (8団体)																		
渡り拍子伝承育成団体	10,000円／1カラあたり	260千円 (11団体)																		
補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)																		
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1／2以内で 市長の定める額	185千円 (4団体)																		
 渡り拍子 保存伝承活動状況 (鋤崎八幡神社の秋祭り(平川渡り拍子保存会))  活動用設備の整備(備中神楽 面)																				

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度 令和4年度	
現在の状況	
吹屋地区道路美装化事業	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間 令和3年度～令和5年度	
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容 高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区を貫通する道路の舗装の傷みが激しいため道路の美装化を行う。市道吹屋線は、長年の利用で道路表面が劣化し、車両や歩行者の通行に支障をきたしている。また、路面荒廃による飛び石等で、周辺建造物への影響も懸念されるため、舗装工事を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年度については、地元関係者と協議を重ね、同地区の街なみと調和する道路舗装色の決定及びイベント等を考慮した工事の実施計画を行った。舗装工事については市道吹屋線含め高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区の支線の舗装工事を現在施工中である。令和5年度へ繰越を行い令和5年4月末の現場完成を目指し工事を実施している。	
進捗状況 ※計画年次との対応	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	
地元関係者及び施工業者と工事の日程調整を実施しており、特殊な施工機械の日程調整等により令和4年度事業については令和5年度への繰越を行っている。令和5年3月～4月の施工を予定しており、全体計画としてはほぼ計画のとおり進行している。	
状況を示す写真や資料等	
 高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区  路面の傷みが進んでいる市道吹屋線	
総延長 L=625m 令和4年施工 L=265m 令和5年度施工 L=360m  整備計画位置図	

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和4年度
城山ウォーキングコース整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	雲海に浮かぶ備中松山城を望む展望台周辺と、臥牛山を縦走する遊歩道や登城道を、これまでに整備してきた「天神の丸跡」や「大池」を含む8箇所の史跡と合わせて、天守が現存する唯一の山城を回遊するルート全体の環境整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和4年度は、設置以来約30年が経過し老朽化が進んでいる大松山吊り橋の木製床板の一部取替修繕を前年に続き実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	回遊ルートは広範囲であるため、関係課の連携を図りながら、計画的に環境整備を進めていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 史跡備中松山城跡 整備箇所 大松山吊り橋 備中松山城を周遊することができる遊歩道 高梁地区重点区域 ●大松山吊り橋全景   修繕前  修繕後		

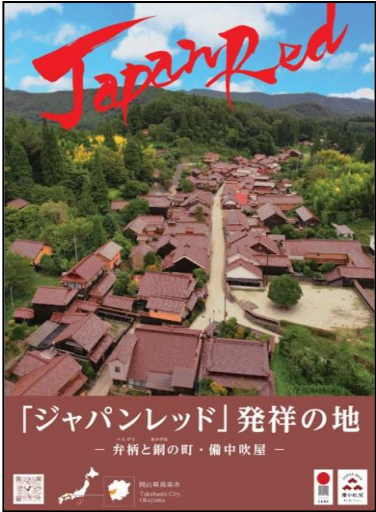
評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和4年度	
項目	
現在の状況	
藩校「有終館」整備事業	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間 令和4年度～令和8年度	
支援事業名 市単独事業	
計画に記載している内容	藩校「有終館」跡に、城下町高梁の歴史を語り継ぐための情報拠点となる施設を整備する。藩校をイメージした建物とし、高梁の歴史と文化、高梁に関わった人物を紹介する展示室や、研修室、観光案内機能などを備えた施設とする。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
事業実施の全体像について、その方向性について市内部での協議を行った。整備を行う前段として「有終館」跡地の遺構調査を行い、整備の基礎資料を作成する計画であったが、現在地には令和6年度末まで幼稚園があり、調査等着手は令和7年度以降とすることが適切であると判断している。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	藩校「有終館」は建物としての資料、絵図等が残っておらず、現段階では当時の建築物を模した復元は非常に厳しい状況にある。このため施設整備に当たっては、整備方針にとどまらず活用に向けた検討が必要である。
状況を示す写真や資料等	
	
藩校「有終館」跡 位置図	
	
藩校「有終館」跡	

評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和4年度
旧吹屋小学校周辺整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和6年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	旧吹屋小学校校舎保存修理工事の完成時期に合わせて、校舎周辺で必要となる整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度に整備した親水公園に続き、町並みを眺望できる展望デッキの整備に向けて地域住民との協議、市内部での検討を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	吹屋の「赤い町並み」を立体的に一望できるスポットがないことは、来訪者の満足度を下げる要因となっている。早急に整備を進めたいが、重要伝統的建造物群保存地区でもあり設置場所の選定や整備形態について慎重な判断を要している。	
状況を示す写真や資料等		
 展望デッキ整備予定位置からの眺望(ドローン撮影)  整備予定位置図(吹屋地域コンセプトプラン)		

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和4年度	
項目	
現在の状況	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
古民家再生事業	
事業期間 平成26年度～令和12年度	
支援事業名 市単独事業	
計画に記載している内容 吹屋地区重点区域では、重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業により修理・修景補助を行ってきているが、空き家が増加しており町並み景観の維持が困難な状況になっている。交流滞在型の観光ビジネスを構築して地域の活性化と文化の継承、集落の維持再生を図ることを目的に、空き家を改修し1棟貸しの宿泊施設等として整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
古民家を再生した宿泊施設「町家ステイ吹屋 千枚」に続く2棟目の宿泊施設整備に向け、次年度において基本、実施設計を行うための予算措置を講じている。	
進捗状況 ※計画年次との対応	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	
吹屋地区の古民家の寄付を受けての整備となるが、所有者との手続きにかかる協議を早急に進めていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等	
 カフェ併設の1棟目施設「町家ステイ吹屋 千枚」	
 2棟目整備対象となる空き家 吹屋地域コンセプトプランによる整備イメージ	

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
日本遺産推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和4年度		
支援事業名	文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)、文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業)		
計画に記載している内容	「ジャパンレッド」発祥の地として、日本遺産に認定された吹屋地域の関連する歴史文化遺産を国内外に広く発信して交流人口の拡大、地域経済の活性化に繋げる事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産を通じた地域活性化計画に基づき、令和4年度は次の事業を実施した。 ●普及啓発事業：日本遺産関連商品・サービス開発支援 ●調査研究事業：弁柄等関連文献調査 ●情報コンテンツ作成事業：日本遺産パンフレット・ポスター作成、日本遺産PR動画作成 ●活用整備事業：「日本遺産センター」整備			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光客数の落ち込み等の影響も踏まえながら、日本遺産を通じた地域活性化計画の令和5年度からの自立・自走期間に向けて、重点支援期間の計画事業を着実に推進していく必要がある。 状況を示す写真や資料等		
●普及啓発事業  日本遺産関連商品・サービス開発事業 ●調査研究事業  弁柄等関連文献調査 ●情報コンテンツ作成事業  日本遺産パンフレット  日本遺産PR動画  日本遺産ポスター ●活用整備事業  日本遺産センター(西教室)  日本遺産センター(東教室)			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度																		
項目		現在の状況																		
歴史と文化の普及啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																		
事業期間	平成23年度～令和12年度																			
支援事業名	市単独事業																			
計画に記載している内容	市民が、高梁市全域の歴史や文化、文化財や民俗芸能について関心を持ち、それらに対する意識の向上が図られるよう、歴史セミナー(高梁歴史いろは塾など)を開催する。																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																				
令和4年度は、岡山県立記録資料館職員や市職員を講師として、高梁市の歴史や文化を学ぶ歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」を開催した。																				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	受講者が固定化していることから、講義内容や回数について検討、調整し、幅広い年齢層への普及啓発を行っていく必要がある。																			
状況を示す写真や資料等																				
●歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」の開催 <table border="1"> <thead> <tr> <th>【開催日】</th> <th>【テーマ】</th> <th>【参加人数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月8日</td> <td>古文書から読み解く備中の大名 ※「高梁市歴史美術館企画展講演会」と共催</td> <td>48名</td> </tr> <tr> <td>11月5日</td> <td>小学校誕生物語ー地域でささえるー</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>11月20日</td> <td>日本遺産「ジャパンレッド発祥の地～弁柄と銅の町・備中吹屋～」の魅力 ※「高梁市教育講演会」と共催</td> <td>73名</td> </tr> <tr> <td>1月21日</td> <td>旧吹屋小学校校舎の歴史と保存修理工事</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>2月11日</td> <td>備中兵乱記を読み直す</td> <td>33名</td> </tr> </tbody> </table>  高梁歴史いろは塾			【開催日】	【テーマ】	【参加人数】	10月8日	古文書から読み解く備中の大名 ※「高梁市歴史美術館企画展講演会」と共催	48名	11月5日	小学校誕生物語ー地域でささえるー	14名	11月20日	日本遺産「ジャパンレッド発祥の地～弁柄と銅の町・備中吹屋～」の魅力 ※「高梁市教育講演会」と共催	73名	1月21日	旧吹屋小学校校舎の歴史と保存修理工事	19名	2月11日	備中兵乱記を読み直す	33名
【開催日】	【テーマ】	【参加人数】																		
10月8日	古文書から読み解く備中の大名 ※「高梁市歴史美術館企画展講演会」と共催	48名																		
11月5日	小学校誕生物語ー地域でささえるー	14名																		
11月20日	日本遺産「ジャパンレッド発祥の地～弁柄と銅の町・備中吹屋～」の魅力 ※「高梁市教育講演会」と共催	73名																		
1月21日	旧吹屋小学校校舎の歴史と保存修理工事	19名																		
2月11日	備中兵乱記を読み直す	33名																		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財の保存又は活用 文化財の修理		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	地域の貴重な財産である文化財を、適切に保護保存し、活用することは、歴史、伝統、文化などを理解する上で不可欠であり、市民の文化に対する意識の向上と発展にもつながるものである。 文化財の修理にあたっては、その価値を維持していくため、現状維持を基本とする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
●文化財の保存・活用について ・郷土資料館保存修理事業 (P5参照) ・旧広兼家住宅保存修理事業 (P8参照) ・吉岡銅山遺跡調査事業 (P9参照) ・松山踊り保存伝承活動推進事業 (P12参照) ・備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業 (P13参照) ●文化財の修理について ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (P4参照) ・史跡備中松山城跡記念物保存修理事業 (P6参照)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (P4参照) 旧広兼家住宅保存修理事業 (P8参照) 吉岡銅山遺跡調査事業 (P9参照) 重要伝統的建造物群保存地区 吹屋地区 高梁市 史跡備中松山城跡記念物保存修理事業 (P6参照) 郷土資料館保存修理事業 (P5参照) 松山踊り保存伝承活動推進事業 (P12参照) 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業 (P13参照)		

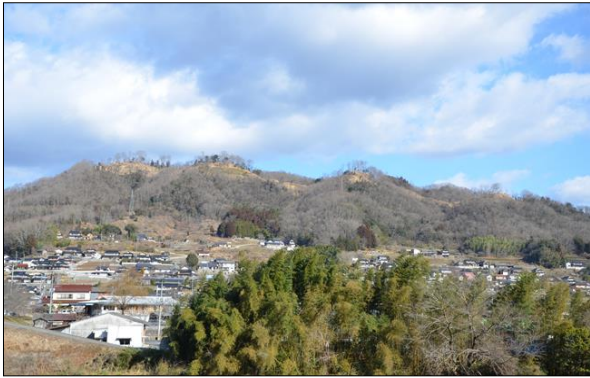
評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度																					
項目		現在の状況																					
文化財の保存・活用を行うための施設		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																					
計画に記載している内容	文化財を広く公開することは、保存、活用を図る上で重要なことである。																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																							
高梁市歴史美術館では、市民をはじめ多くの人に、高梁市ゆかりの文化財や絵画等に親しみ理解を深めてもらう機会とするため、定期的に展覧会を開催している。 令和4年度は、企画展2回と常設展を開催し、入場者数は延べ1,301人であった。																							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																						
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	常設展・企画展・特別展を組み合わせた展示計画をたて、展示の固定化をはかる。																						
状況を示す写真や資料等																							
●高梁市歴史美術館 展覧会 <table border="1"> <thead> <tr> <th>【期 間】</th> <th>【展覧会名】</th> <th>【入場者数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月1日～5月30日 (60日間)</td> <td>常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>6月13日～6月17日 (5日間)</td> <td>燻蒸作業(全館休館)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6月22日～8月22日 (62日間)</td> <td>常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>9月3日～11月28日 (87日間)</td> <td>高梁市歴史美術館開館25周年企画展「もののふの系譜～高梁を治めた武士～」</td> <td>812人</td> </tr> <tr> <td>12月10日～2月6日 (59日間)</td> <td>常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>2月18日～3月31日 (42日間)</td> <td>企画展「生誕140年 清水比庵展～芸術に遊ぶ～」</td> <td>245人</td> </tr> </tbody> </table>  			【期 間】	【展覧会名】	【入場者数】	4月1日～5月30日 (60日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」	100人	6月13日～6月17日 (5日間)	燻蒸作業(全館休館)		6月22日～8月22日 (62日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」	72人	9月3日～11月28日 (87日間)	高梁市歴史美術館開館25周年企画展「もののふの系譜～高梁を治めた武士～」	812人	12月10日～2月6日 (59日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」	72人	2月18日～3月31日 (42日間)	企画展「生誕140年 清水比庵展～芸術に遊ぶ～」	245人
【期 間】	【展覧会名】	【入場者数】																					
4月1日～5月30日 (60日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」	100人																					
6月13日～6月17日 (5日間)	燻蒸作業(全館休館)																						
6月22日～8月22日 (62日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」	72人																					
9月3日～11月28日 (87日間)	高梁市歴史美術館開館25周年企画展「もののふの系譜～高梁を治めた武士～」	812人																					
12月10日～2月6日 (59日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」／「山田方谷の生涯」	72人																					
2月18日～3月31日 (42日間)	企画展「生誕140年 清水比庵展～芸術に遊ぶ～」	245人																					

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財の防災 埋蔵文化財の取扱 文化財の保存・活用に関わっている住民、任意団体など各種団体の状況及び今後の体制整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	消防署と連携し、防火施設や消火設備に対し、助成を行うなど適正な管理を促すとともに、所有者などに対し、定期的な消火訓練などを促し防災体制の強化に努める。 開発にあたっては、事業者に対して事前に協議を行うように指導し、可能な限り包蔵地を回避し、保存するよう働きかけていく。 必要な情報提供を行うとともに人材育成を図り、行政と市民との協働による文化財の保存、活用につながるような体制の整備を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財防火デーにあわせて、市内の指定重要文化財について、防火査察を行うとともに、消火訓練を行った。また文化財の所有者に対し、防犯、傷付け事案の発生に対する注意喚起を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	世界的な文化財の火災等を受けて、地域住民の文化財等に対する防災意識が高まっているが、引き続き啓発を行うとともに、文化財に対する理解も深めてもらう必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
●1月26日の文化財防火デーに、高梁市消防本部が教育委員会とともに、国指定・県指定・市指定の重要文化財(建造物)の防火査察を行った。 また、重要文化財における消防設備点検に合わせて、設置している消防設備の使用方法について訓練を行った。(備中松山城、旧片山家住宅、旧吹屋小学校にて) 備中松山城においては、高梁市消防本部の若手職員を対象に設置設備の確認や使用方法に関する訓練を実施した。 ●吹屋町並保存会が主体となり、放水訓練を実施した。さらに、初期消火に必要となる消火器の使用訓練を実施した。  旧片山家住宅での消防訓練  備中松山城での消防訓練 ●開発にあたり、教育委員会に事前の照会が49件あり、埋蔵文化財包蔵地について文化財保護法第93条の届出が15件(工事立会13件、慎重工事2件)、第94条の通知が4件(工事立会4件)であった。 ●川面町において地元団体が自主的に寺山城の整備を行っており、教育委員会が指導した。 また、備中町において、地元団体が高瀬舟の船着き場の調査を実施するにあたり、技術的な指導を行った。  寺山城  備中町 高瀬舟の船着き場		

		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
木造校舎威容再び 旧吹屋小保存修理完了、21日から公開	令和4年4月1日	山陽新聞	
高梁本町地区 3年ぶり雛まつり華やぐ	令和4年4月7日	山陽新聞	
備中神楽継承へ 社中連携未来開く フェスやシンボ8月に計画	令和4年4月14日	山陽新聞	
備中神楽子ども公演 高梁で神楽師ら会合 8月開催「頑張る姿を」	令和4年4月16日	山陽新聞	
旧吹屋小「開校」 明治の木造校舎 教室再現	令和4年4月22日	山陽新聞	
明治にタイムスリップ 高梁・旧吹屋小MR映像体験	令和4年5月12日	山陽新聞	
高梁・旧吹屋小リニューアルオープン1ヵ月 入館6000人突破	令和4年5月27日	山陽新聞	
旧吹屋小デザイン手拭い 高梁市麻田百貨店	令和4年5月27日	山陽新聞	
方谷記念館1万人 3年3ヵ月で大台突破	令和4年5月31日	山陽新聞	
方谷の小説本紙連載 直木賞作家・澤田瞳子さん執筆	令和4年6月3日	山陽新聞	
吹屋の日本遺産PR 高梁市推進協事業計画決定	令和4年6月14日	山陽新聞	
天空の天守火から守れ 高梁市消防18年ぶり備中松山城で訓練	令和4年6月15日	山陽新聞	
方谷命日遺徳しのぶ 高梁・中井町住民が墓参り	令和4年7月1日	山陽新聞	
旧吹屋小入館1万人 福山の末吉さんに記念品	令和4年7月4日	山陽新聞	
重伝建の町並み守れ 高梁吹屋 住民が初期消火訓練	令和4年7月5日	山陽新聞	
赤褐色の町並み楽しむ 東京岡山県人会女性部 日本遺産・吹屋訪問	令和4年7月6日	山陽新聞	
高梁の名所、行事紹介 旧吹屋小や愛宕大花火 旧埴原家で写真展	令和4年7月14日	山陽新聞	
「松山踊り」ポスター原画 三宅さん(城南高)作品採用 3年ぶり祭典PR	令和4年7月15日	山陽新聞	
旧藩主思いやる書状 元備中松山藩主・板倉勝静 高梁・方谷記念館で公開	令和4年7月16日	山陽新聞	
小説活用し方谷PR 「広める高梁の会」総会 大河ドラマ化要望継続	令和4年7月22日	山陽新聞	
若い女性に高梁PR 電子雑誌「旅色」5日から公開(吹屋、松山城)	令和4年8月2日	山陽新聞	
松山踊り多くのひと「マスク姿でも頑張る」踊り手ら練習励む	令和4年8月3日	山陽新聞	
留学生ら松山踊り挑戦 高梁で体験会 踊りフレンズの助言受け	令和4年8月10日	山陽新聞	
高梁・松山踊り開催 3年ぶり城下町華やぐ	令和4年8月15日	山陽新聞	
備中たかはし松山踊り 伝統の舞再び コロナ禍で中止過去2年の思いも込め	令和4年8月18日	山陽新聞	
吹屋ふるさと村地図に 高梁の児童魅力アピール お気に入り撮影しベタッ	令和4年8月23日	山陽新聞	
吹屋魅力の「赤」発信 彫刻や写真などアート展	令和4年9月9日	山陽新聞	
吹屋町並み赤の彩り 高梁初のアート展始まる	令和4年9月11日	山陽新聞	
赤のアートまちに趣 高梁・吹屋地区でイベント	令和4年9月14日	山陽新聞	
手話言語の国際デー 旧吹屋小共生社会願う青(吹屋小ライトアップ)	令和4年9月24日	山陽新聞	
吹屋小唄踊り3年ぶり夜に舞う 市民グループ練習に熱	令和4年10月6日	山陽新聞	
幻想的な高梁の風景 旧埴原家雲海と紅葉題材写真展	令和4年10月8日	山陽新聞	
備中武士の生きざま紹介 高梁市歴史美術館開館25周年展「もののふの系譜」	令和4年10月13日	山陽新聞	
成羽育成会 3年ぶり演舞披露 子ども神楽良い舞台に	令和4年10月22日	山陽新聞	
地図手に「とと道」歩いて 笠岡～高梁・吹屋沿線の史跡や名所加筆 ガイド本改訂	令和4年10月31日	山陽新聞	
高梁「吹屋花めぐり」 ベンガラの町華やか 11施設に生け花30点観光客ら魅了	令和4年11月1日	山陽新聞	
備中松山城 重文・二重櫓を公開	令和4年11月8日	朝日新聞	
「もののふの系譜」後期展 板倉家所用の甲冑目玉 高梁市歴史美術館初公開史料も	令和4年11月9日	山陽新聞	
雲間から秋の天守 備中松山城(雲海)	令和4年11月11日	山陽新聞	
高梁誘客に学生の声を 清心女子大生モニターツアー 観光地巡りベンガラ染めの体験も	令和4年11月17日	山陽新聞	
本紙小説連載予定澤田さん 方谷生誕地高梁を取材	令和4年11月18日	山陽新聞	
方谷顕彰弁当試作 真庭の穀物卸売会社と高梁の住民グループ	令和4年11月22日	山陽新聞	
天守すっきり 備中松山城(備中松山城す払い)	令和4年12月16日	山陽新聞	
方谷大河ドラマ化／景気「モチ直し」 紅白餅3神社で配布 高梁・住民団体	令和4年12月28日	山陽新聞	
伯備線の魅力を写真でアピール 高梁・旧埴原家で展示会	令和5年1月5日	山陽新聞	
猫城主・さんじゅーろー観光客回復願い初詣 備中松山城会いに来て	令和5年1月6日	山陽新聞	
2023年の備北 日本遺産センター開設	令和5年1月26日	山陽新聞	
旧吹屋小にポケストップ ポケモンGO登場モニュメント設置	令和5年1月29日	山陽新聞	
高梁・旧吹屋小 ジャパンレッド産業や歴史紹介 日本遺産センター開設	令和5年2月24日	山陽新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

備中松山城や旧吹屋小学校が開校した吹屋地区を中心に、文化財を活用したイベントや文化財の保存・保護に向けた取り組み、観光振興に繋げる内容が数多く報道された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



旧吹屋小学校オープニング記念式典(4月21日開催)



「旅色」紙冊子版(8月)

評価軸⑥-1 その他(効果等)																																																																		
評価対象年度 令和4年度																																																																		
項目																																																																		
観光客数(主要文化財来訪者数)の推移																																																																		
計画に記載 している内容																																																																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																																																		
平成30年7月豪雨災害後に回復傾向にあった観光客数(主要文化財来訪者)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で落ち込んだが、令和4年度には感染拡大の落ち着きや吹屋等での新たな政策、話題などにより、コロナ前と比較し6割程度まで回復を続けている。																																																																		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																																	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	新型コロナウイルスの感染拡大に注意しながら、関係機関が連携して来訪者数の回復に向けた取り組みを進めていく必要がある。																																																																	
状況を示す写真や資料等																																																																		
主要文化財 来訪者数の推移 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>合計</th><th>備中松山城</th><th>頼久寺庭園</th><th>旧片山家住宅</th></tr></thead><tbody><tr><td>23年度</td><td>72539</td><td>42008</td><td>19477</td><td>11054</td></tr><tr><td>24年度</td><td>73603</td><td>43030</td><td>18986</td><td>11587</td></tr><tr><td>25年度</td><td>76598</td><td>50862</td><td>15948</td><td>9788</td></tr><tr><td>26年度</td><td>100041</td><td>72068</td><td>19002</td><td>8971</td></tr><tr><td>27年度</td><td>125556</td><td>94439</td><td>21441</td><td>9676</td></tr><tr><td>28年度</td><td>139649</td><td>106166</td><td>21859</td><td>11624</td></tr><tr><td>29年度</td><td>114163</td><td>86625</td><td>19468</td><td>8070</td></tr><tr><td>30年度</td><td>97769</td><td>73290</td><td>17298</td><td>7181</td></tr><tr><td>元年度</td><td>125744</td><td>99267</td><td>18363</td><td>8114</td></tr><tr><td>2年度</td><td>63572</td><td>51467</td><td>7332</td><td>4773</td></tr><tr><td>3年度</td><td>60918</td><td>45909</td><td>7827</td><td>7182</td></tr><tr><td>4年度</td><td>87139</td><td>67047</td><td>9587</td><td>10505</td></tr></tbody></table>		年度	合計	備中松山城	頼久寺庭園	旧片山家住宅	23年度	72539	42008	19477	11054	24年度	73603	43030	18986	11587	25年度	76598	50862	15948	9788	26年度	100041	72068	19002	8971	27年度	125556	94439	21441	9676	28年度	139649	106166	21859	11624	29年度	114163	86625	19468	8070	30年度	97769	73290	17298	7181	元年度	125744	99267	18363	8114	2年度	63572	51467	7332	4773	3年度	60918	45909	7827	7182	4年度	87139	67047	9587	10505
年度	合計	備中松山城	頼久寺庭園	旧片山家住宅																																																														
23年度	72539	42008	19477	11054																																																														
24年度	73603	43030	18986	11587																																																														
25年度	76598	50862	15948	9788																																																														
26年度	100041	72068	19002	8971																																																														
27年度	125556	94439	21441	9676																																																														
28年度	139649	106166	21859	11624																																																														
29年度	114163	86625	19468	8070																																																														
30年度	97769	73290	17298	7181																																																														
元年度	125744	99267	18363	8114																																																														
2年度	63572	51467	7332	4773																																																														
3年度	60918	45909	7827	7182																																																														
4年度	87139	67047	9587	10505																																																														

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会	
会議等の開催日時:令和5年3月28日	
(コメントの概要) ・高梁市歴史的町並み保存地区整備事業について、令和3年度補助上限を拡充したとのことであったが、全体的に建築費が高騰している中、この事業にどのように影響しているか。 ・「高梁歴史いろは塾」の今年度の具体的内容と、市民にどのような効果影響があるのか。 ・城下町(向町)の土塀が崩れているところや、管理が行き届いていない空き家がある。向町の通りは風情があり保存修理すべきであるが、何かよい考えはあるか。 ・高梁地区の道路美装化はどのような施工方法となるのか。歴まち計画第1期で行った城下町の道路美装化は色が白く景観的にもどうかと思っている。 ・令和8年度から計画している無電柱化事業についての工法は決まったのか。 ・吹屋地区で展望台設置の計画があるようだが、どのようなものをどこに設置する予定か。	
(今後の対応方針) ・建築費の高騰は、所有者の町並み保存への意識はあっても費用面から躊躇される傾向にある。材料の見直しや安価な施行方法など所有者と相談しながら、歴史的町並みの維持保存に努めたい。 ・「高梁歴史いろは塾」は、毎年教育委員会と連携し継続して行っている事業であり年5回程度行っている。特に今年度は、吹屋日本遺産について市民周知を図るため講演会を開催した。平均で40人から70人程度の方が毎回参加され、高梁の歴史文化について広く学ぶことができる内容となっている。また、市民のみならず市外からの参加者も増え、高梁のPRにも繋がっている。今後も継続して実施していきたい。 ・向町の土塀は個人所有のものは、補助金を活用して修繕が行われている。市管理の土塀も傷んでいるため、関係課と修繕について協議していきたい。また、空き家については歴史的建造物と認識しており、所有者と残す方向で保存・活用について協議している。向町は歴史的に重要な通りであるので、来年度道路美装化も計画しており、景観の維持と観光地としての回遊性も高めていきたい。 ・現在の道路美装化は半たわみ性舗装で、24cm掘削し住民への負担、施工期間や費用もかかるため、安価で景観に合った新たな工法を検討している。現在、景観計画の普通地区で同じ工法での施工を予定しており、景観的に町並に合うことが確認できれば各委員にも確認をし、今後城下町の道路美装化に採用していきたい。 ・令和5年度に建設課で無電柱化計画を作成する予定である。工法については出来るだけ安価で、景観にあったものを地域住民や中国電力等と協議しながら進めていきたい。 ・観光客の満足度を高めるため、吹屋の「赤い町並み」を立体的に一望できる展望スポットの整備を計画している。伝建地区でもあり景観への十分な配慮が必要とされており、来年度以降、設置場所等検討していきたい。	